

九割九分迄はすでに熊本縣へ復歸してをり、もはや會黨派の本部もなくなり委員長長さへも轉向脱落してしまつてゐることをヒタかくしに民衆の前にかくしてゐるのは農民を迷はせるものだ。と言れても仕方あるまい。

幹部の考は別としても、編佐の組織形態と日常行爲とは客觀的には實はアナルゴサンジカリスム（無政府經濟闘争主義）であるに過ぎない。

(3) 我々の立場―日農と編佐のこのバラバラ式闘争が何百年の福岡縣内の一隅でくりかへされたところでそれで巨大なる日本資本主義組織にタタの一刃でもアビせることは絶對に不可能である。我か至農編佐は農民解放の終局の敵は没落小地主にあらずして三井、三菱、住友の如き巨大金融資本家であり、と斷定し之が掃滅のためには先づ農民戦線の概

一を必要としこの二個の縣内團體に一日も早くツヨガリをやめて至農へ合流するやう努力せねばならぬ

(4) 政黨問題―唯一の無産黨社會大衆黨を強力に支持する。組織大衆に政治的所屬を明示しないのは「編佐」の二の舞の如く幹部は共產派で支隊長は政友會選舉運動員（編佐の真例）と言ふヒサンな日に大衆をつきおとす。

それだけでなくも元來農民が地方分散的な傾向にある。之を都市労働運動大衆と結びつけるの道は大衆政黨を造るのみである。

農民組合、労働組合に限らず日常組合經營を重んずるの余り所屬政黨問題を論議することを回避する幹部があるが左傾な者は最も愚賢ヒキヤウな日和見主義と言はねばならぬ
非常時とは、暴力闘争や、かの無産黨から脱落逃亡した